

愛知県の動き

令和2年4月10日

愛知県独自の緊急事態宣言（第1回目） 4月10日～5月6日

▽緊急事態宣言の柱

| | |
|---|---|
| 1 | 県内ですべての不要不急の外出・移動を自粛 |
| 2 | 密閉・密集・密接という「三つの密」を徹底的に避ける |
| 3 | 日常生活に必要な事業活動は継続する |
| 4 | 医療体制と検査体制を確保。医療関係者などのへの風評被害を禁止 |
| 5 | 県民、事業者へのきめ細やかな支援 |
| 6 | 製造業をはじめ中小企業、農林水産業、建設業、観光業、宿泊業、飲食業などに独自の経済対策 |
| 7 | 県民、市町村、各種団体、企業と緊密に連携 |

〈背景〉

4月7日：国の緊急事態宣言（東京・埼玉・千葉・大阪など7都道府県）

：愛知県1日最多の21人の感染が判明

4月9日：国内の感染者が1日最多の576人、累計で5,000人を超えた。

令和2年8月6日

愛知県独自の緊急事態宣言（第2回目） 8月6日～8月24日

▽緊急事態宣言の柱

| | |
|---|--|
| 1 | 不要不急の行動自粛・行動の変容 ・お盆休み期間中は、不要不急の行動の自粛をお願いします |
| 2 | 県をまたぐ不要不急の移動自粛 ・お盆休みの期間中の帰省については、もう一度、家族と検討をお願いします。体調が優れない場合は、帰省や旅行を控えてください。 ・帰省や旅行先でも、居住地や目的地の自治体が出す最新情報を確認し、体調管理と基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。 |
| 3 | 感染防止策対策の徹底 ・名古屋市中区の栄・錦地区で、接待を伴う飲食店等に対し、営業時間の短縮等を要請します。 |

〈背景〉

8月 5日：・県内の新規感染者が9日連続で100人を超えた。新規感染者の感染者の70%は30歳以下で95%が軽症・無症状者となっているが最近40代・50代や中等症者が増加傾向を示しており、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方々への拡大防止が強く求められている。

・土曜日から多くの人がお盆休みに入る。この時期をとらえて、感染拡大を封じたい。